



Universal Camp
in
KYUSHU

第3回ユニバーサルキャンプ in 九州

実施:2010.11.6(土)~7(日)(1泊2日)

場所:国営海の中道海浜公園 デイキャンプ場



NPO法人FUKUOKAデザインリーグ

NPO法人FUKUOKAデザインリーグ事務局

〒815-0033 福岡市南区大橋1-3-27 九州大学 大橋サテライト ルネット内

TEL:092-551-0825 FAX:092-405-0825

ユニバーサルキャンプ開催について

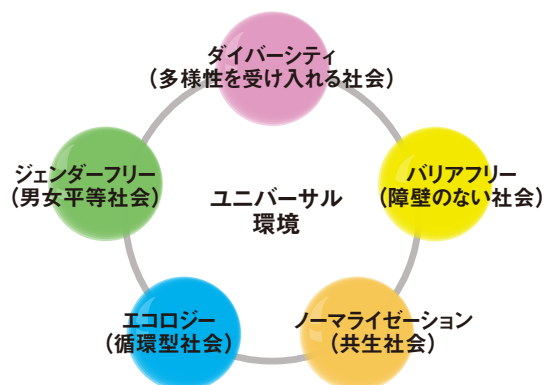
ユニバーサルキャンプはダイバーシティ(Diversity=多様性)の視点に立ち、「みんなと一緒に生き活きと暮らせる社会」の実現を目指して実施する交流イベントです。私たちは豊かな自然の中でキャンプという、日常生活より少し不便な環境を味わいながら、誰もがそれぞれに出来ること、出来ないことがあることに気づきます。そしてお互いが協力し、サポートし合うという体験を通して、参加者の一人ひとりが尊厳を持つ対等な関係であることを理解します。

コンセプトとキーワード

ユニバーサル
環境
を推進する

エコロジー
を考える

企業の未来
を探る



第3回ユニバーサルキャンプの概要

▼事前研修 (事前交流会)

10月23日(土) 10:00~15:30

- (1) オリエンテーション
 - (2) UD研修/グループワーク
- ・障がい者へのサポートの基本
 - ・車いす体験、聴覚・視覚障害の疑似体験
 - ・ダイバーシティコミュニケーション
 - ・気づきの共有 など

※プログラムは変更になる場合があります。



2009年度のUD研修の様子

▼ユニバーサルキャンプ <1泊2日>

1日目 11月6日(土) 10:00~

- ・開村式
- ・ユニキャンでアート
染め体験
竹でつくろう! マイ箸・マイカップ
- ・ダイバーシティコミュニケーション1
- ・BBQ
- ・キャンドルナイト
ユニキャンコンサート
- ・夜会:ダイバーシティコミュニケーション2

2日目 11月7日(日) ~15:30

- ・フリータイム
うみなか散策
ユニバーサルレクリエーション
- ・ランチdeパーティ
- ・閉村式



2009年度のユニバーサルキャンプ

- 主催 NPO法人 FUKUOKAデザインリーグ ●共催 NPO法人ユニバーサルイベント協会、国営海の中道海浜公園
- 後援 福岡県・福岡市(予定) ●協賛 賛同いただいた企業・団体・個人のみなさま
- 参加者 一般参加者 50名程度、ボランティアスタッフ ●参加費 一般 5,000円 学生・子ども(高校生以下) 3,000円

< 過去のユニバーサルキャンプについて >

○第1回

開催概要

日時:2008年7月19日(土)~21日(月・祝)

場所:のこのしまアイランドパークとその周辺(福岡市西区能古島)

参加者数:62名

プログラム

- ・事前研修[9月5日(土)実施]
- ・開村式
- ・カレーでコラボ
- ・能古人の語りを聴く会
- ・ファーム体験とパスタ昼食会
- ・ダイバーシティコミュニケーション
- ・BBQ
- ・キャンプファイヤー
- ・ユニバーサルイベント
- ・閉村式



○第2回

開催概要

日時:2009年9月26日(土)~27日(日)

場所:国営海の中道海浜公園

参加者数:56名

プログラム

- ・事前研修[9月5日(土)実施]
- ・開村式
- ・マイ箸・コップづくり
- ・ダイバーシティコミュニケーション
- ・キャンドル作り&BBQ
- ・キャンドルナイト
- ・コンサート & 夜会
- ・サンドイッチ・パーティー
- ・自由時間
- ・閉村式



< 参加者の声 >

キャンプでの感想

- 聴覚障害のある方と、手話が分からなくても、結構会話できるものだなと思った。自然と表情が豊かになるので、会話をしている楽しい気分になる。
- 視覚障害のある方と2日間一緒過ごし、行動力と空間把握能力の高さには驚きました。目が見えていないことを感じさせず、私がしたことが逆に迷惑だったかもしれないと今では感じています。
- 全盲聾唖の方と同じ tent になり、最初は正直戸惑いもありましたが、キャンプ終了時には手話が全く出来ない私でも、かなり意思疎通が出来るようになり「相手とコミュニケーションが取りたい」という意思さえあれば気持ちは伝わるものだな...と感じました。
- まず、名前を名乗ってから発言すること、相手の顔をしっかり見て大きな声で話しかけること、離席するときに一言断ること、などの行為は、相手の方が聴覚障害でなくても常に心掛けて行うべきで、当たり前にするべきことである、ということを知ることが出来ました。コミュニケーションの基本を学びました。
- 手話のボランティアをしている方をみていて、体ごとぶつかって話を伝えている姿に感激しました。
- 手話ができなくても、手のひらに直接文字を書くことでコミュニケーション出来たことに感動しました。
- 今までは街で白杖を持っている人を見ると少し距離を置いてしまっていたが、今回初めて触れあったことで今後何か気付くことがあれば気軽に声を掛けることが出来ると思う。
- 視覚・聴覚・肢体障がい者とかかわりの中で、「相手の立場に立つことはコミュニケーションから始まる」ことに気づき、それをこれからの生活の中で実践していけたらと思います。
- 1泊2日で2日目も夕方前に帰れるという、気楽に行ける日程は良かった。

プログラム等について

- ダイバーシティでは、外国の方との交流もあり、UDならではの!!と思える、よい経験だった。
- 盲導犬に興味があったので、直接いろいろ話を聞いてよかった。
- 竹工作でマイ箸を作る時、どうしたら誰もが食べやすいかを考える機会がUDの身近な実践として勉強になって良かった。
- キャンドルナイトはとても美しく、感動した。
- 全体のプログラムのバランスがとってよく、自然に皆さんと親しくなりながら食事などを楽しむことができた。
- ダイバーシティコミュニケーションではそれぞれの立場で考えていることが「ワークショップ」という機会を通じて理解できたことは、とても貴重な経験でありかつ楽しかった。
- 障がいをもたれている方が交代で話をするプログラムは非常に興味深いものでした。各人の困っている点、社会に要望する点などが聞け住宅設備メーカーの立場としても非常に役に立ちました。
- のこベジファームの野菜収穫体験さまざまな特性を持つ人たちの農園歩きは、サポートや野菜の説明の仕方など、コミュニケーション方法を各自が工夫している、気づきの多い体験だったと思う。美味しかったし。
- サラダづくり。沢山の気づきがありました。行動への支援、他、コミュニケーション。
- のこベジファームでの収穫体験プログラムでは、視覚障害の方が、とても楽しそうに収穫する姿が印象的だった。

< 過去の協賛企業 > ※順不同

- (NPO)ユニバーサルイベント協会
- 国営海の中道海浜公園
- 福岡県・福岡市(後援)
- 有限会社 甘木白蟻
- 九州電力株式会社
- 株式会社九電工
- 九州旅客鉄道株式会社
- 株式会社きらきら
- クリアプランニング株式会社
- コカコーラウエストジャパン株式会社
- 西部ガス株式会社
- 西日本パブリック株式会社
- 株式会社西鉄シティホテル
- ソラリア西鉄ホテルレストラン部
- 福岡トヨペット株式会社
- 西日本シティ銀行株式会社
- 株式会社丹創社
- 貝島科学工業株式会社
- 株式会社イーコムハウジング
- 大塚製薬株式会社
- 株式会社ピエトロ
- 有限会社システム・ユー
- 有限会社アドボックス
- 武永デザイン事務所

< 受賞歴 >

- ◇「国営公園 夢プラン'09 チャレンジ部門」『優秀賞』(2009)
財団法人公園緑地管理財団

